

# ヴィスコークザ會社女工寄宿舎

宇佐美けい

同會社内の托兒所に就ては前號に極ざつて記載致しましたが、その構内にある女工の寄宿舎を參觀させて貰ひましたので、大して幼兒教育と關係のある事ではありませんが、其施設、また女工の日常生活を實際に觀まして興味多く感じましたのでその概略を御紹介いたします。

構内に男工の寄宿舎もありますが全然別棟で、可なり離れて居ります。

女工の寄宿舎は建物も可なり古く決して立派ではありませんが、現在五百人の女工が寄宿してゐる大きい建物であります。其寢室は兵營式で六十人位のベッドが一室に並んで居ります。鼠色の毛布で餘りきれいではありませんが、眞白なシーツミピロケース、清潔にして整然たるものであります。女工の修養娛樂の機關も備つて居ります。チャペ

ルがありまして朝夕の禮拜が行はれます。娛樂室にはステージがあつて芝居、活動寫眞等を常に催すといふ事であります。食堂、炊事場、洗濯場も廣くて清潔であります。その他に醫療室があり、尼さんの質素な部屋があります。庭も相當に廣く、畑もあり女工が楽しみに花造り耕作をするに申します。休みの女工二三十人日陰で休息をして居りました。その他に手藝、裁縫をしてゐる數人がありましたが其處には尼さんが手をこつて教へて居られました。女工の日給は一日十五リラ(一リラ十二錢弱但し其當時)で寄宿の食費その他一切が一日五リラといふ事であります。女工は自分の身の廻りの事と自分のもの洗濯をするだけで、炊事は女中が致します。伊太利は一日八時間労働國で日曜日は休みであります。然し時間制になつて居りますので一

週四十八時間さいふわけですから、働き人の希望により一日九時間働き半さんの日を一日作る事も出来る制度になつて居ります。

女工の健康状態に常に細心の注意が拂はれ、毎日醫者が見舞ふばかりでなく、此處にも、獻身的奉仕の生活をしてゐる尼さんが数人居られて、女工の教育も、衛生上の綿密なる注意を監督の任に當つて居ります。あの純白の頭巾をかぶり裾長の黒のガウンを着て常に、にこ〜に、せまらず、あせらぬ姿は世にも氣高くながめられた事でありませぬ。

尙下位氏から聞きえた此國に於ける教育施設の一二を附記いたします。

近來裸體學校が非常に盛でありまして、また實蹟をあけつゝあるさいふ事ではありますが、其方法も極めて徹底したもので、暑中は全くのブ羅斯一つで、授業も雨天以外は全然屋外でいたします。寒中は戸内にストーブを焚きながら窓を開いて裸體、酷暑の季節だけ薄いものを着るさいふ事でありませぬ。政府は暑中休暇の臨海、林間學校を奨勵し

十萬の學童がこれに参加してゐるさいふ事でありませぬが、更に將來は中小學兒童全部を山、海に暑中二ヶ月過ごさせる事を理想としてゐるさうでありまして、尙それ等のキャンプ生活にて兒童は各自親の職業の實地練習をさせられます、例へば、大工の子供は大工、左官の子は左官といった風であつて、その他郵便事務を始め一切の自治團體を組織して全く獨立した一つの社會生活を営ましむる事を實行してゐるさいふ事ではありますが、要するに伊太利政府は現在、兒童を勝れたる健康の持主とする事に全力を注ぎ、自然母性保護にも亦身をいれてやるさいふわけであります。

### カルパテルラ托兒所

これはローマの街外れの貧民窟近くにある托兒所であります。

此處には家の無い人の爲めの大きいアパートメントが現在三つ完成して居りますがその中の一つに托兒所があるのであります、現在百人の赤ん坊から學校までの幼児を

收容して居りますが、皆眞白なエプロンをかけてすがすがしい装をして居ります。此處にも保姆の他に尼さんが世話をして居ります。廣いバルコニーで皆遊んで居りました。食堂、午睡の部屋も相當に廣く去年五月(一九一九)に落成したのでさういふ、極めて新しい氣持のよいものであります。晝寢の部屋のベットが中々面白く出来て居ります。それは四圍の壁に造りつけたもので不用の時は壁に添ふて疊んで仕舞ふ事が出来たので、部屋の利用が出来るし、また始末のよいものさういふ事でありました。幼稚園らしい設備は殆どありません、食堂にはニュームの皿ミカップが並んで居りました。明るい清潔な點で極めて衛生的な托兒所であります。

此アパートに住む、公立小學校に通學する女兒に、放課後歸宅の後集めて種々の手藝を教へる部屋があつて、現在は學校は暑中休暇であるが丁度それをしてゐるさういふので一寸のぞいて見ました。尼さんが一人で十歳前後の二三十人の女兒に教へて居りましたが、ドロソウワークをする者、小さい着物を縫ふものなど皆嬉しそうに一生懸命針

を運ばせて居りました。種々成績品を見せてくれ、その後で唱歌を聞かせてくれました。それはファッショの黨歌で「青春」さういふ歌ださういふ事でありました。

托兒所は朝から午後七時半頃まで預るさういふ事でありました。

アパートメントは中々立派なもので私の見た一つは風呂場があつて一週間で完成するさういふ所でした、風呂が五つあつて、他の二つのアパートの人も皆此處に来て一週間に一回入浴の出来るやうにするさういふ事でありました。

一つのテレスのついた部屋を見せて貰ひましたが中々よい部屋でした、ベットの他に戸棚が一つあるだけです。

テレス附は部屋代一日三リラ(日本金四十錢)であります。一つの建物には各室の他に大きい料理場があり、食堂がある、洗濯場があります、食堂は一等二等三等あつて食物は食券で自由に選擇することが出来ます、食堂で食べても亦各自の部屋にこりよせる事も出来ます。一等の食堂などは、テーブルクロスをかけて、中々ちゃんとしたものであります。食堂の入口に今日の料理の品目と價格が書いて

居りました。

牛肉の煮附 二リラ。ビーフステーキ 二リラ

果物 六〇毛。葡萄酒四分の一リットル八〇毛。

コーヒー 八〇毛。等

洗濯場が中々広くよく出来て居ります。二十人以上一度に出来ます、消毒する設備も別にあります。

醫療室、續いてお産をする部屋、産婦室、嬰兒室、皆別別であります。若い醫師が親切に案内して説明してくれました。此處では外來の患者も診察をするこいふ事であります。この建物の一家族毎に健康表こいふ様なものが出来てゐて、其家族全部の生年月日その他病歴に就て記入したものが出来て居りますが中々行き届いたものであります。托兒所は勿論、その他の各部の仕事、或は炊事の方に皆尼さんが手傳つて居られますが、その事がこれ等居住者にこい位多くのよき感化と指導を與へる事であらうと思つた事であります。

### ウイン市立兒童預り所

其建物の立派である事、設備、その他の完備せる點に於て世界的に有名であります。

それは宏大な純白の建物でありまして中は眞白なタエルバリで細い黒い筋のはいつてゐる極めて美しいものであります。此處には住む家の一時無くなつた勞働者、また母親が病氣に罹つてゐる等の子を一時預ります。毎日二十人位の新しい兒童がはいり常に新陳代謝が行はれて居るこいふ事もあります。手續きこしては、該事務所へ届け出で調査を受け、醫師の診断の後、病弱兒はその輕重、症狀に應じて適當の處置を受ける事になつて居ります。傳染病兒の爲めには隔離室があります。此建物の特徴として、建物の内部を完全に三つに遮斷する事が出来るやうになつて居りますので、萬一區劃の建物の中に傳染病が出来た場合には、完全に他との交通を斷つて獨立するこいの出来るやうになつて居ります。大したものがあります。

小兒の部屋に行く階段の正面に「赤ん坊は皆生きる權利がある」こいふ意味の標語が大理石に彫刻してあります。全體で二百六十名收容し得るこいふ事でありますが、

此建物の他に尙市内に二個所同様の者があるといふ事でありませぬ。此處に四十四人の看護婦が働いて居ります。これ等の婦人は皆三ヶ年の看護婦學校、或は保姆學校の卒業生で立派な人達だといふ事でありませぬ。

受け容れられた兒童は醫師の診察を受け、健康兒は直ちに地下室にある風呂場でお風呂を使はさせられます。

澤山お風呂があります、年長の女兒が手傳つて居りました。此處にある間は所定の着物に着かへさせられます。六ヶ月未滿の赤ん坊は母親と一緒に居る事が出来ます。其間母親は嬰兒の育て方を學ぶそうであります。丁度滿一歳の赤ん坊が皆食後で靜かにベツトに置かれる時間でありませぬが、ベツトの上に立ち上つては尻もちをつく、可愛い事つたらありませんでした。明るい清潔な部屋で周到な養育をうけるわけでありませぬ。金を拂ひ得る程度の人は一、二日六シル(日本金一圓八十錢)を支拂ひませぬ。自然相當な家庭の子供も居ります。生後から十四歳までの兒童を預るので期間は三ヶ月を限度とする短期間のものでありますから其間の學校の事は別に問題にならぬと申して居

りました。また長期間預らねばならぬ事情の者は此處から里子に出すといふ事でありませぬ。

——實習生保實日誌より——

ストーヴのそばで、コドモノクニをよんでゐた、その文句の中に「心」いふのがあつた、それをきいた信夫さん

「心つて何さ」

「誰にでもあるのよ」私

「みんなものか知つてる？」きけば

「知つてらあ、心つてね、空氣の様なんだよ、ふわ／＼してゐるんだい」

「ちや、どこにあるの」

「そんなことわかつてらあ、お腹の中よ」

「みせてちょうだい」

「見せられないやい、見せてたままるものかい」